

第 35 回

令和 8 年 5 月 25 日

No.1782

会長 藤田 敬治
幹事 菊池 武司

例会日 / 毎週月曜日 12:30~

例会場 / トキハ会館 4F

TEL 097-532-0611

FAX 097-532-8386

会長スローガン

よいことのために手を取りあい、
新たなクラブ活動を目指そう！
～明るく、楽しく、さわやかなクラブ運営を～

Email : oita1985rc@mist.ocn.ne.jp

ホームページ : www.oita1985rc.jp

UNITE
FOR
GOOD

R I 会長
RI第2720地区ガバナー
大分第4グループガバナー補佐

2025-'26年度
国際ロータリーのテーマ

「よいことのために
手を取りあおう」

フランチェスコ・アレッツォ
藤田 千克由
森 永 隆 二

■ 本日のプログラム (5月25日)

12:30 点 鐘
会 食
ロータリーソング 「四つのテスト」
ゲスト・ビジターの紹介 会長 藤田 敬治
会長の時間 会長 藤田 敬治
出席報告 出席担当 高橋 道成
幹事報告 幹事 菊池 武司
委員会報告 「関係委員会」
ニコニコタイム 高橋 道成
13:00 「業績は人の後についてくる～
ファンづくり経営の実践～」
明井 博嗣様 (株式会社Smile Connect代表)

* 今週のお祝い

会員誕生日 門脇 啓志会員 (5月25日)

■ 第34回例会の記録 (5月18日)

「子どもたちの「安心」と「回復」を支えるために」
大分こども心理療育センター

愛育学園はばたき施設長 宇野 敬三様

・ 出席報告 (5月18日)

会員総数	21 名
5 月 18 日	
出席免除	0 名
出席会員数	16 名
出席率	76.19 %
ゲスト	1 名
ビジター	0 名
4 月 20 日	
修正出席率	77.27 %

ロータリーソング

【四つのテスト】

真実かどうか みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

会長の時間 (5月25日) 会長 藤田 敬治

国際ロータリーは、1985年に「ポリオ・プラス」を開始し、世界規模で予防接種活動を推進しており、ポリオ根絶に取り組んでいることは、ご高承のとおりです。ポリオは、主に5歳未満の子供が感染しやすいウィルス性疾患で、重症化すると手足の麻痺を起こし、多くの子供たちが後遺症に苦しむことになります。

このポリオの根絶には、現在では、世界保健機関(WHO)をはじめユニセフやアメリカ疾病予防管理センター(CPC)と国際ロータリーが連携し展開しており、患者数は、99%以上減少し、多くの国では、ポリオは根絶されつつあり、完全撲滅まであと少しとなっています。

ポリオ根絶が、世界的規模で取り組まれている中で、「100年に一度」とされる新型コロナウイルス感染症のパンデミックで、危機に立ち向かわれました尾身 茂(結核予防会理事長)氏とポリオ根絶とロータリーとの関係について触れてみます。

尾身氏が書かれた「私の履歴書」によれば、厚生省に、入省後1年後の1990年に、WHO西太平洋地域事務局に転じ、その後責任者となり、ポリオ根絶に携わり、中国、カンボジア、ラオス、ベトナムなど、ポリオの流行国にワクチンを無償で提供することに組み込まれました。

ところが、当初から、資金面で、各国とも、意義には理解を示したが、お金は一切集まらなかった。1992年10月に北京で開いた3回目の国際会議で、国際ロータリークラブから1億5000万円の資金提供があり、これをきっかけに、各国から資金援助が行われることになりました。

その後は、中国を先頭に、フィリピン、ベトナムで予防接種が行われ、カンボジアの15か月の女兒を最後に西太平洋地域からのポリオ患者の症例報告はびたりと止まり、2000年10月29日、ついに西太平洋地域のポリオ根絶が宣言されました。

しかしながら、ポリオは、完全には終わっていません。紛争地域や医療体制の弱い国では、ワクチン接種が困難な場合があり、国際社会の継続的支援が必要です。これからも、ポリオ根絶活動への理解と支援を、広げて行ければと思います。

例会の予定

- 6月 1日(月) 次年度奉仕計画の発表(1)対内奉仕
- 6月 8日(月) 次年度奉仕計画の発表(2)対外奉仕
- 6月15日(月) 今年度総括
- 6月22日(月) 最終夜の例会 19時～
トキハ会館6階「さくらの間」
- 6月29日(月) 定款細則の規定による休会

社会福祉法人 藤本愛育会
大分子ども心理療育センター愛育学園はばたき
施設長 宇野 敬三様

「愛育学園はばたき」は、心理的・情緒的な困難を抱え、家庭や学校での生活が難しくなった子ども達が、安心して生活しながら治療を受ける施設です。
平成27年に大分県で初めて児童心理療育施設として開設されました。

入所しているのは主に小中学生です。
ASDやADHDなどの発達特性を持つ子どもが多く、約7~8割が被虐待経験を持っています。
学習の遅れや対人関係の困難さを抱え、不安や緊張の中で過ごしてきた子ども達です。

暴言、暴力、拒否、逃避といった行動の裏には強い不安や恐れがあります。それらは、自分を守るために身につけた行動でもあります。

施設では、24時間365日、切れ目ない支援を行っています。
生活そのものが治療であり、安心できる環境があつてこそ、子ども達の成長があると考えています。
発達特性のある子ども達には、特性に応じた関わりを行っています。

ASDの子どもには

- ・ゆっくり、短く、具体的に伝える
- ・視覚的に分かりやすく示す
- ・予定や変化は事前に知らせる

ADHDの子どもには

- ・役割や達成感を持てる関わりを
- ・事前に見通しを示す
- ・できた瞬間を具体的に褒める

また、不穏時には

- ・まず安全を確保する
- ・刺激を減らす

幹事報告

- ・(再)次年度奉仕計画書について
次年度各委員長 提出期限5月22日(金)まで 早めに提出をお願いします。

【発表】

6月1日(月)クラブ管理運営・SAA・出席・親睦・プログラム
・会員組織・公共イメージ

6月8日(月)奉仕P総括・職業奉仕・社会奉仕・青少年奉仕・国際奉仕・クラブ交流・R財団

- ・2026-27年度 第2回高校生RYLA(青少年指導者養成プログラム)セミナー開催のご案内
日時 2026年8月8日(土)・9日(日) 1泊2日
場所 日本文理大学湯布院研修所
各インターアクト提唱クラブの皆様、ロータリアン従業員の子どもさん、ご親族など高校生なら誰でも参加できます。
登録は、記載されているQRコードよりお願いします。

ニコボックス

★藤田 敬治会長(2口)

5月24日(日)に73歳の誕生日を迎えます。
原油価格の高騰により、印刷業界も主要原材料である紙やインキ等の値上がりにより、大変厳しい状況にありますのでご理解をお願いします。

★高橋 道成会員(1口)

昨日の芋の苗植えを欠席したため、1口させていただきます。

★門脇 啓志会員(1口)

府内戦紙の協賛ありがとうございます。
私も参加いたしますので、よろしくお願ひします。



・落ち着くまで待つ

施設では、医師による診察や個別セラピーに加え、心理職・看護師・生活職員、栄養士など、多職種によるチーム支援を行っています。分校とも連携しながら、子ども達の生活と学びを支えています。

また、トラウマの視点を大切にし、子ども達の心の回復を支えています。

退所後も、家庭や里親、児童養護施設・学校などと連携し、子ども達が安心して地域で暮らしていけるよう継続的にサポートしています。

子どもに必要なのは、特別な技術だけではありません。

「自分は大切にされている」と感じられる経験や安心して関わられる大人の存在が必要です。

そして、その存在の一部を担ってくださっているのが、大分1985ロータリークラブの皆さまです。

皆さまのご支援は、

- ・安心して暮らせる生活環境の維持
- ・専門的な治療やセラピーの充実
- ・退所後の継続支援

など、子ども達の未来を支える力になっています。

皆さまの温かいご理解とご支援が、子どもたちの未来につながっています。

ゲスト・ビジターの紹介

ゲスト：宇野 敬三様(愛育学園はばたき施設長)

5月17日(日) 次年度地区補助金プロジェクト芋の苗植え会

